

2025年11月10日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

画像検査や手術所見に基づいた非触知精巣における精巣局在の臨床的検討

研究の概要

【背景】

非触知精巣（陰嚢内や鼠径部で精巣が触れない状態）は、約2000人に1人の割合で生まれる男児にみられる病気で、陰嚢内に精巣が触れない状態を指します。精巣はお腹の中や鼠径部にある場合、消失している場合、そもそも発生していない場合があります。触診だけでは場所が分からぬいため、超音波やMRIなどの画像検査を行いますが、正確さには限界があります。最終的には腹腔鏡などで確認が必要ですが、術前診断の精度を高めることで不要な手術を減らせる可能性があります。

【目的】

本研究では、非触知精巣について、画像検査での診断がどの程度正確かを、実際の手術で確認した結果と比べて調べます。画像検査の強みや限界を明らかにすることで、手術前に精巣の場所をより正確に予測できるようになることを目的としています。

【意義】

診断の信頼性が高まれば手術の計画をより適切に立てられ、不要な検査を減らすことができ、患者さんやご家族にとって安心につながると考えます。

【方法】

長崎大学病院で非触知精巣と診断された患者さんについて、診察や血液検査、超音波・MRI検査、そして手術中に確認した内容など、普段の診療で得られる情報を集めます。そのうえで、どの情報が精巣の場所や有無を予測するのに役立つかを調べていきます。

対象となる患者さん

2013年10月1日から2026年10月1日までの間に、長崎大学病院で非触知精巣に対して腹腔鏡検査または開放手術を受けた方すべてを対象とします。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景：年齢、身長、体重、家族歴
- ・身体診察：精巣触診
- ・臨床検査
 - 血液学的検査：白血球数、白血球分類、赤血球数、Hb、血小板数
 - 血液生化学的検査：Na、K、Cl、Ca、T-bil、AST、ALT、ALP、γ-GTP、LD BUN、Cre、TP、Alb、Che、CK
- ・超音波検査：エコー検査(精巣サイズ/精巣の内部性状/精巣血流)
- ・MRI検査：精巣サイズ/精巣の内部性状
- ・手術所見：腹腔鏡検査や開放手術で確認された精巣の局在や有無

本研究で得られた情報等を異なる研究で使用することがあります。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日／提供開始予定日

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2026年10月1日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学医歯薬学総合研究科 泌尿器科学 氏名：今村 亮一（教授） 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095(819)7340
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科 原田 淳樹

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095(819)7340 FAX 095(819)7343

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）